

THOMAS ENHCO

Piano JAZZ recital

～mozart paradox～

トーマス・エンコ ピアノジャズリサイタル ～モーツァルト・パラドックス～



世界が注目する
フランス・ジャズ界の貴公子が贈る
モーツァルト・プログラム



令和7年
11月24日(月・祝)
開場 13:30 開演 14:00
坂東市民音楽ホール

全席指定 3,000円 当日 500円増

Program

W. A. モーツァルト&トーマス・エンコ：
歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲、「お手をどうぞ」
ナハトムジーク
アヴェ・ヴェルム・コルプス
ピアノ・ソナタ
司祭たちのワルツ
ディソナンス・シンフォニー
『レクイエム』より「ラクリモーサ」
クラリネット協奏曲 他、順不同

※曲目は変更になる場合があります

チケット
発売日

◆LINE電子チケット 8/15(金) 午前9時～ (以降24時間受付)
◆坂東市民音楽ホール 8/16(土) 午前9時～ TEL 0297-36-1100
◆坂東郷土館ミューズ 8/16(土) 午前10時～ TEL 0297-44-0055、0280-88-8700



※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※前売券が完売した場合、当日券の販売はございません。 ※遠方の方で電話予約を希望の方は8/17(日)9時以降坂東市民音楽ホールまでお問合せください。

■主催 坂東市文化振興事業団

問合先 坂東市民音楽ホール 〒306-0631 茨城県坂東市岩井5082番地 TEL 0297-36-1100

PROFILE/プロフィール

Thomas Enhco

トーマス・エンコ

1988年パリ生まれ。

幼少期よりヴァイオリンとピアノでクラシック音楽の基礎を学び、CMDL(ディディエ・ロックウッド音楽センター) およびパリ国立高等音楽院で学ぶ。その後、国際的な評価を獲得し、Verve、ドイツ・グラモフォン、ソニー・ミュージックといったレーベルからアルバムを発表。年間100公演以上を世界各地で行っている。

出演歴には、東京、モントリオール、ウィーン、モントルー、イスタンブール、ノースシー、ニューヨークなどのジャズ・フェスティバルや、オランピア劇場などの著名な会場に加え、クラシック音楽の殿堂として知られるパリ・フィルハーモニー、ボルドー・オペラ座、ブリュッセル・フラジェイ、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、上海大劇院、ザルツブルク・モーツァルテウム、シャトレ劇場、北京コンサートホール、京都コンサートホール、札幌・キタラホールなどがある。

ジャズ・ピアニストとしては、ソロ、トリオ編成(ベース、ドラムとの共演)、各種デュオ形式で演奏活動を行っている。ソロ公演では、ジャズ・スタンダード、ポップス、クラシックの名曲、そして自身のオリジナル作品を即興的に織り交ぜる独自のスタイルが、世界中の観客と批評家から高く評価されている。《A Modern Songbook》は、キャロル・キング、スティング、ガブリエル・フォレー、ジェイムズ・ブレイク、セルジュ・ゲンズブール、ロンドン・グラマー、ニック・ドレイク、シルビオ・ロドリゲスらの楽曲を再解釈し、125年にわたる音楽の旅を描いた作品である。2023年、パリ・フィルハーモニーにてキース・ジャレットの伝説的な《ケルン・コンサート》を再演した4公演は完売し、延べ4,000人の聴衆の記憶に深く刻まれた。

クラシック・ピアニストとしては、モーツァルトのピアノ協奏曲第24番および第21番、ラヴェルのピアノ協奏曲ト長調、ガーシュウインのピアノ協奏曲ヘ調および《ラプソディ・イン・ブルー》、さらには自身による《ピアノとオーケストラのための協奏曲》《マリンバとピアノ、オーケストラのための二重協奏曲》《鳥たちのささやき(ヴァイオリン、ピアノと室内オーケストラのための狂詩曲)》などをレパートリーとする。

受賞歴には、SACEMジャズ大賞(2020年)、Victoires du Jazz(2013年)、大阪国際室内楽コンクール銀賞(2017年)、FIPA映画音楽賞金賞(2012年/ジェラルド・モルディヤ監督『Les Cinq Parties du Monde』)、ジャンゴ・ドール新人賞(2010年)、マルシャル・ソラル国際ジャズピアノコンクール第3位(2010年)などがある。



□交通のご案内

- ◆常磐自動車道 谷和原 I.C より約30分
- ◆圏央道 坂東 I.C より約15分
- ◆鉄道 東武アーバンパークライン愛宕駅 愛宕駅より岩井車庫行き「原口北」下車徒歩10分
つくばエクスプレス守谷駅 守谷駅より岩井バスターミナル行き「岩井局前」下車徒歩15分